

令和6年度 学校関係者評価 （学校運営協議会委員）

市貝町立小貝小学校学校運営協議会

○4段階評価

A：期待通りまたは期待以上	B：ほぼ期待通り	C：やや期待を下回る	D：改善を要する
---------------	----------	------------	----------

評価者6名 （ ） 評価者の人数

	項目	評価項目	委員評価
1	学校経営・方針	・スローガン「自らチャレンジ 元気な学校」 （１）「豊かな人間性」「確かな学力」「健康と体力」の調和のとれた教育実践に努める。 （２）地域とともにある学校づくり、安全安心な学校づくりに努める。 （３）日常の教育活動で、評価改善を図りながら経営にあたる。 （４）豊かな人間性と実践的指導力を培う教職員研修を推進する。 ※グランドデザイン参照	A (6)
2	組織運営	・学校は、教育目標の実現に向けて、学校経営上の課題を把握し課題解決のために組織的に取り組んでいる。 （校務分掌の有効化・学校課題の取組） ・学校は、教職員が本来の業務に専念し、教育の質の維持・向上が図れるよう、ICT活用などによる校務の見直しや改善する等、校務業務を効率化し、働き方改革に取り組んでいる。 （スズキ校務活用） ・学校は、国、県、町の動向、教育施策、児童の現状、家庭・地域の実態、社会情勢について幅広く情報を収集・整理・分析・共有し、特色ある学校づくりに取り組んでいる。 （ふるさと学習の実施）	A (6)
3	教育課程・学力向上	・学校は、学校や地域の実態を踏まえながら、魅力ある教育課程を編成・実施、評価、改善を生かした、分かる授業を展開し、資質・能力の育成に努めている。 （学力向上推進リーダーによる日々の授業への支援） ・学校は、児童の発達の段階に応じた適切な配慮を行い、一人一人にとって最適な学びと協働的な学びを提供するよう努めている。 （学習用端末機器等の活用） ・学校は、高い教育効果が得られる学校行事を実施している。（学校行事の精選・PDCAカードによる工夫・改善）	A (5) B (1)
4	豊かな心の育成・生徒指導・特別支援教育	・学校は、児童が友達や教職員・来校者に進んであいさつする環境を醸成している。 （あいさつ運動の実施） ・学校は、教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。 （小貝っ子のやくそく） ・学校は、児童一人一人が個の特性を認め合って安心して学校生活を送ることができる環境を整備している。 （いじめ防止基本方針）	A (5) B (1)
5	健康・体力の向上・安全	・学校は、体育や休み時間などを通じて、児童が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。 （体育集会等の実施） ・学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。 （栄養教諭による食に関する指導の実施等） ・学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を見直し、修正し危機管理体制を整え、状況を判断し避難や安全行動がとれる児童の育成に努めている。 （避難訓練の実施）	A (6)
6	保護者・地域との連携協力	・学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。 （日々のホームページ更新、学校だよりの発行） ・学校は、保護者や地域と連携し、地域素材を生かしたふるさと学習を計画、実践している。 （総合的な学習の時間、社会科、生活科等） ・学校は学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。 （学校づくりアンケートの実施と回答）	A (6)
7	環境整備・施設整備	・学校は、施設・設備の維持・管理とともに警備・防火・防犯などについて、安全確保に努めている。 （防犯カメラの設置、来校者へのあいさつ等） ・学校は、安全で美しい学習環境の整備に努めている。 （PTA・後援会・地域シニアアクティブクラブの協力による奉仕作業等） ・学校は安全点検を定期的に実施し、教育委員会と連携した施設整備に取り組んでいる。 （教師・児童による安全点検の実施、日々の校内巡視）	A (6)

学校運営協議会委員の意見提言と次年度へ向けた改善策等

- ・ 秋季大運動会の協力や授業参観、特に宮古島の伊良部小学校との交流学习はすばらしい。来年度も授業参観をとoshi、子どもたちの様子を見せていただきたい。
- ・ 児童の様子を学校HPに毎日掲載するなど、積極的な情報発信が保護者の信頼と安心に繋がっている。
- ・ 総合的な学習の時間に多くの地域の方が関わるなど、小規模校ならではの教育環境づくりに教職員が努力されている。
- ・ 学校外（地域）においてはあいさつが今ひとつと感じる。地域と学校の結びつきをさらに高めるため、相手の心が和むような笑顔で元気なあいさつの実践を指導願いたい。
- ・ ノーチャイムで子どもたちが動くのはすごいと思う。
- ・ タブレットの活用が進んできているが、ノートに書く機会が少なくなっているように思う。児童の書く力が劣ってきていないか心配である。（板書をノートに書くことも含む）
- ・ 今年度もグランドデザインにそって、それぞれの実現のために多角的に取り組まれた結果が、教職員・保護者・児童の評価（AまたはB）に表れた。運営委員として、役に立てる機会が少なかったことは申し訳ない。高評価に隠れたCやDの回答にも目を向けて、その要因があれば対応して欲しい。
- ・ 学校での学び（学習やあいさつなど）が充実していても、児童一人一人の身についてるか？学童を利用している子どもたちを見ていると、それぞれの学年での習得に不安を感じる子が多いことに驚く。学校や家庭でサポートし克服できるできるように願っている。また、いじめとまではいかなくても、冷たい言葉や仲間はずれに使い言動も時に見聞きする。これらにおいては、学校と学童との間で情報交換を含め、よりよい方向に進んで行ければ健全な子どもたちに育み、学力も伴った小貝っ子に成長してくれると思う。
- ・ 次年度に向けた改善の対策も具体的に挙げられているので、更なる小貝小の歩みに期待する。何より学校が楽しいと思っている児童がAB＝100%という結果は素晴らしい。